



# 久保田由夫 ほっと通信



NO. 100

2020. 5月号

【部内資料】

発行 くぼたよし事務所 ☎42-6361 fax 42-5630

<久保田由夫のブログ・ツイッター・フェイスブックもご覧ください>

日本共産党



## <季節の写真>

武石地域余里地区の花桃の里  
今年は、訪れる人も少なくおちついて散歩することができました。

## 日本国憲法施行 73 周年 ～危機打開は憲法を生かす政治への転換でこそ～

◆新型コロナウイルス感染拡大が上田市でも確認されており、不安を広げている。市民の命と健康を守るため最前線で社会を支えてくれている医療関係者をはじめすべての人々に応援と感謝をしたい。◆日本共産党上田市議団は、4月15日、土屋市長と峯村教育長へ、3回目となる「新型コロナウイルス感染症への対応に関する緊急申し入れ」を行った。直面する市民生活の危機打開のために活かしてもらいたい。◆失業者が増えれば自殺者が増えることがリーマンショックで起きた。コロナ拡大防止には、三つの密を避け、人の移動を制限することだが、自粛と補償を一体で進めることが必要だ。◆休業中の小学校、中学校の児童・生徒が登校できないストレスなど心身への悪影響が心配だ。集団でなければ、学べないこと、体験できないことがたくさんあるのでないか。◆5月3日は、憲法記念日。コロナ感染症とのたたかいで国民に団結を説きながら、国民多数が反対している改憲を訴える安倍首相にはあきれてしまう。◆コロナ禍の今、憲法の理念である個人の尊重と幸福追求の権利(13条)、生存権(25条)と財産権(29条)など、憲法が保障している国民の権利を実現することこそが政治の責任である。(くぼた よしお)

## 「一人 10 万円」の支給事業など総額・約 160 億円の補正予算が可決(5 月臨時議会)

「10万円支給事業」は、157,000人

「子育て世帯への臨時特別給付金」は、19,500人

○連休明けの5月7日、上田市議会5月臨時会が開かれ、総額160億3,696万4千円の補正予算が提出され可決された。

### ◆特別定額給付金(一律 10 万円支給事業)

上田市では、157億円、157,000人を予算化した。4月27日時点で住民基本台帳に登録されている市民が対象者。

### ◆子育て世帯への臨時特別給付金(一人 1 万円の上乗せ)

対象者は、0歳から中学生がいる世帯。

### ※「10 万円支給事業」の手続きの状況

上田市では、5月1日から受付業務を開始。5月6日現在で、1277件の申請があった。内訳は、マイナンバーカードによるオンライン申請は752件、市のホームページからの申請書類をダウンロードして、必要事項を記入して郵送してもらう申請は525件。

※周知については、自治会を通じて早急を実施する。

※これから、マイナンバーカードを取得するには一か月ほど時間がかかる。5月下旬に市から郵送される記入済みの申請書を確認して返送してもらうことが手続きとしては早い。

※子育て世帯への臨時特別給付金は、現在対象となっている世帯に対して6月の支給に合わせて一人1万円が上乗せされるもので、受給対象者は、手続きする必要は特にない。

## 憲法(記念日)に関する世論調査

### 【共同(4月29日付)】

★安倍政権下での改憲…反対58% 賛成40%

### 【NHK(5月3日)】

★あなたは今、憲法改正の議論を進める時だと思うか…

「憲法以外の問題に優先してとりくむべき」78%

「憲法改正の議論を進めるべき」13%

### 【朝日新聞(5月3日付)】

★国会での憲法改正の議論を急ぐ必要があるか…

「急ぐ必要はない」72% 「急ぐ必要がある」22%

★緊急事態条項…「いまの憲法を変えずに対応」57%

「憲法を改正して対応」31% 「必要ない」8%

★安倍政権下での改憲…「反対」58% 「賛成」32%

★9条…「変えないほうがよい」65%

「変えるほうがよい」27%

### 【毎日新聞(5月3日付)】

★安倍首相在任中の改憲…「反対」46% 「賛成」36%

### 【読売新聞(5月3日付)】

★9条改憲…「解釈・運用で対応」43% 「改正」33%

★安保法制の評価…「評価する」46% 「評価しない」50%

※出典:日本共産党長野県委員会

## 久保田由夫ほっと通信が 100 号に

2012年10月、第1号を発行してから、基本的に毎月発行。  
2019年8月号(NO91号)からフルカラー印刷にしました。